

8月6日(水)

平和がつづきますように

朝、カレンダーを確認しながら

1945年8月6日広島県、8月9日に長崎県に原爆が投下されたことの話をしました。

「せんそうってなに?」「げんぱく?」

今こうしてみんなでお話をしたり、絵本をみることができなかったときがあったんだよ。



朝の時間に絵本2冊をみました。

『8月6日のこと』の絵本にあることは、

本当にあった話だよと伝えると、驚いた表情を見せるこどもたち。

『8月6日のこと』

文 中川ひろたか 絵 長谷川義史

これは66年前、ほんとうに
あったお話です。瀬戸内海はその
日もおだやかな海でした。
絵本作家・中川ひろたかが広島で
亡くなった自分の伯父、被爆者と
なった自分の母の体験を伝え、
こどもたちへ問いかける絵本
(河出書房新社 HP より)



『おひさまとおつきさまのけんか』

作 せなけいこ

ある日、けんかをしておひさまと、
おつきさま。ふたりの中はどんどん
わるくなり…。戦争について、
ストレートに問いかける絵本
(ポプラ社 HP より)



ごはんを食べて、お昼寝をして…

こどもたちが大人になっても
友達と笑って、好きなことを楽しむことができる
平和が続きますように。